

SEIFU

心に寄り添い、命を支える



社会医療法人 清風会

〒731-5156 広島県広島市佐伯区倉重 1-95

(代表) TEL.082-943-7725 FAX.082-921-0104 ✉ kannri@seifu.net

ご挨拶

社会医療法人清風会 理事長
向田 一敏

この度、五日市記念病院は開設35周年、廿日市記念病院は26周年という節目を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆様からの温かいご支援と、日々現場で奮闘する職員一人ひとりの努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当法人では地域における役割を改めて見つめ直し、今後5年間を見据えた「清風会の中期計画」をスタートいたしました。私たちの目指す5年後のありたい姿は、広島西部（西区・佐伯区・廿日市市）において、急性期医療から在宅まで切れ目なく良質なサービスを提供する「統合型ヘルスケアプロバイダー」への進化です。第10期となる今期は、法人全体の機能を最適化する「攻める・磨く・つなぐ」の成長戦略3本柱を軸に、一体となった医療・介護体制を構築してまいります。

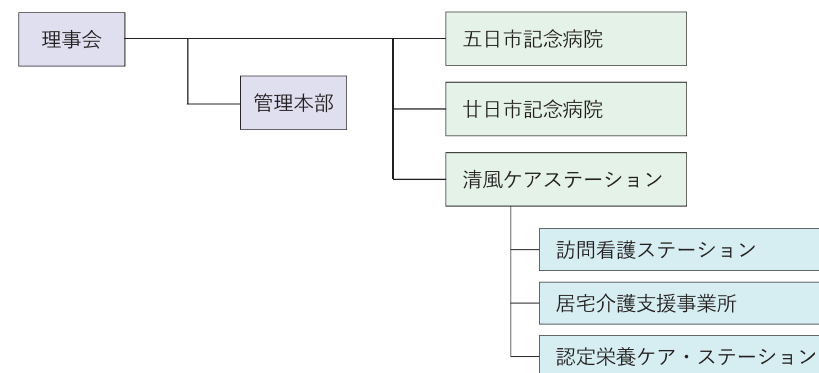
- ・【攻める】：五日市記念病院においては、新制度における「急性期一般入院料B」の基準を維持し、地域の救急・急性期医療の機能をしっかりと守り抜きます。
- ・【磨く】：廿日市記念病院においては、これまで培ってきた専門性をさらに高め、地域を支えるリハビリテーションセンターおよび緩和ケア機能を持つ包括期・終末期の専門病院としての役割を全うします。
- ・【つなぐ】：これら両院の機能を地域生活へとつなげる在宅医療・介護分野の拡大展開です。在宅療養中に状態が急性増悪した場合でも、即座に五日市記念病院の救急で受け入れる、清風会ネットワーク内での安心の循環型ケアを実現してまいります。

この垂直統合の循環を支えるのは、次代を担う「人財」にほかなりません。人財育成や職場環境の整備を担う管理本部を中心に、両院が緊密に連携を図りながら、職員一人ひとりが「ここで働きたい」と誇りを持てる魅力的な職場づくりに全力を注いでまいります。

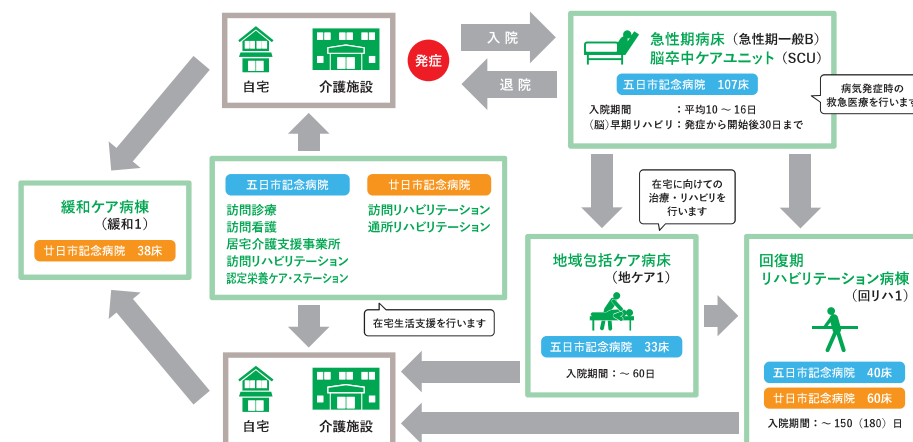
私たちはこれからも、地域に根ざした医療を守り育てるべく、時代の変化に柔軟に向き合いながら、誠実に歩みを進めてまいります。今後とも、皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年8月

組織図



五日市記念病院・廿日市記念病院の連携



日本医療機能評価機構

五日市記念病院・廿日市記念病院は
（公財）日本医療機能評価機構の認定病院です。

日本医療機能評価機構とは厚生労働省が薦める「医療機能の評価」を行う第三者機関です。
医療の質の向上を図るため、病院を始めとする医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善支援を目的とするものです。



五日市記念病院

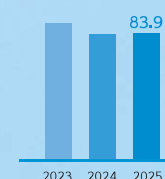
地域に密着した、急性期・救急の病院です

外来数

159.8人/日



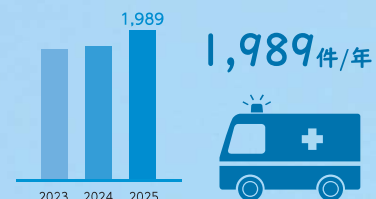
病床利用率



83.9%



救急搬入件数



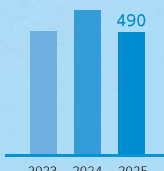
1,989件/年



手術件数

490件

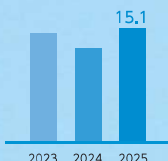
※全件数



平均在院日数

15.1日

※一般病棟のみ



※2025年7月～2026年6月

五日市記念病院

【五日市記念病院】

開設年月日 1991年7月1日

院長 大庭 信二

診療科目 脳神経外科、血液内科、内科
消化器内科、循環器内科、神経内科
外科、整形外科、麻酔科
リハビリテーション科
脳ドック・血管ドック

許可病床数 180床
(急性期一般病床 103床、SCU 4床
地域包括ケア 33床、回復期リハビリ
テーション病棟 40床)

建物面積 9956 m²

〒731-5156 広島県広島市佐伯区倉重1-95
(代表) TEL.082-924-2211 FAX.082-924-8111
✉ imh@seifu.net

【高度脳血管 治療センター】



脳卒中（脳血管障害）は、虚血性脳血管障害と出血性脳血管障害に大別されますが、当センターは、頸動脈狭窄症・急性期脳梗塞などの虚血性脳血管障害および脳動脈瘤・脳動静脈奇形・硬膜動静脈瘻などの出血性脳血管障害を含めたすべての脳血管障害のみならず、鎖骨下動脈狭窄・腕頭動脈狭窄などの四肢血管障害、脳腫瘍などの疾患を治療対象として扱っています。

当センターでは、これらの疾患に対し、最新機種で島津製作所のパイブレン式血管撮影装置Triniasを用いて血管内治療を行っています。

カテーテル治療

脳血管内治療

患者さんへの侵襲が少ない治療であり、通常の予定手術では治療翌日から食事や歩行が可能で、治療後数日で退院が可能です。特に最近では、治療器具の進歩、手技の向上や、様々なエビデンスにより安全性・有効性が認められています。



開頭手術

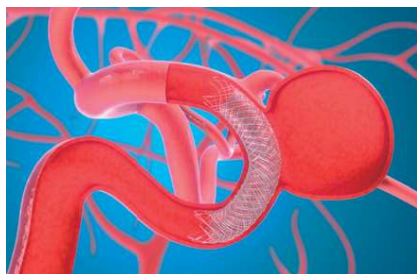
クリッピング術

破裂してしまうとその3分の2以上が死亡～重篤な後遺症を負ってしまうクモ膜下出血の予防のために、破裂の前に脳動脈瘤を根治できる未破裂脳動脈瘤の開頭クリッピング術を年間50例以上行っています。



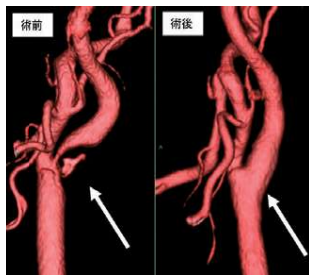
フローダイバーター

フローダイバーターという治療機器は、コイル塞栓術支援用ステントよりもさらに網目が細くなったメッシュ状のステントで、コイル塞栓術と異なり、動脈瘤内の薄い壁の中にカテーテルやコイルを挿入する必要がないので、術中破裂の危険性が低くなります。



血行再建術

動脈の詰まりを直接取り除く「頸動脈内膜剥離術」、血管内にステントを留置して広げる「ステント留置術」、別の血管から血流を確保する「バイパス術」など、患者さんの状態に応じて最適な治療を選択し、安全かつ効果的な治療に取り組んでいます。



診療部

脳神経外科



理事長 向田 一敏

専門分野：脳血管障害・下垂体腫瘍・脳腫瘍
出身大学：広島大学（昭和54年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本脳ドック学会認定医



院長 大庭 信二

専門分野：脳血管障害、脳腫瘍
機能的脳神経外科治療
出身大学：広島大学（昭和61年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本脳ドック学会認定医



診療部長 梶原 洋介

専門分野：脳血管障害、頭部外傷など
脳神経外科一般
出身大学：広島大学（平成13年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会専門医、指導医



副院長、科長 坪井 俊之

専門分野：脳血管障害、血行再建術
頭蓋底手術
出身大学：宮崎医科大学
（平成9年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
臨床研修指導医



宮崎 裕子

専門分野：脳血管障害
神経内視鏡手術など
出身大学：近畿大学（平成20年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本神経内視鏡学会技術認定医



高度脳血管治療センター長 坂本 繁幸

専門分野：脳血管障害、脳血管内治療
出身大学：広島大学（平成9年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医、指導医
日本脳卒中学会専門医、指導医
日本頭痛学会専門医、指導医



大庭 秀雄

専門分野：脳血管障害、頭部外傷など
脳神経外科一般
出身大学：広島大学（平成24年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳卒中の外科学会技術認定医
日本脳神経血管内治療学会専門医
日本脳卒中学会専門医、指導医



須長 正貴

専門分野：脳卒中の外科、もやもや病
出身大学：東京医科大学
（平成26年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳卒中の外科学会技術認定医



（前理事長）
非常勤医師 梶原 四郎

専門分野：脳血管障害
出身大学：広島大学（昭和47年 卒業）



非常勤医師 光原 崇文

専門分野：脊髄・脊髄外科
出身大学：広島大学（平成13年 卒業）
日本脊髄外科学会専門医、指導医
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳卒中会専門医、指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医 等



非常勤医師 瀬山 剛

専門分野：てんかん外科
出身大学：大分大学（平成17年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医



脳神経外科特別顧問 上山 博康

出身大学：北海道大学
（昭和48年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中会専門医



新館 待合室



本館 待合室



血液内科 外来



血液内科 病棟

【血液疾患治療センター】血液内科



広島プロトコルで白血病に挑む

血液内科では、主に急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫などの診療をおこなっています。

20床の無菌室と11床の外来化学療法室を稼働し、より多くの患者さんを受け入れています。治せる疾患は確実に治し、治癒困難な症例も元気な時間を多くもてるように工夫を行い、独自に開発した化学療法と新規の分子標的薬を有効に組み合わせ治療効果を高めています。感染症対策、輸血、化学療法を安全に丁寧に行い治療率の向上、生存期間の延長を目指しています。



血液疾患治療センター長、科長 許 泰一

専門分野：白血病、骨髄異形成症候群
出身大学：広島大学（昭和52年 卒業）
日本血液学会功労会員



内科



地域に根ざしたかかりつけ医として高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や消化器疾患、呼吸器疾患などの内科疾患の診断や治療について総合内科医としての立場から幅広い診療を心がけています。また、安全で確かな上部、下部消化管内視鏡検査を施行しており、患者さんの苦痛を少しでも軽減するために超細径スコープを導入、鼻からの上部消化管内視鏡検査も可能です。さらに大腸については、苦痛の少ない最新のCTC（大腸CT）も積極的に施行しています。



診療部副部長、科長 松尾 順子

専門分野：肝臓内科
出身大学：広島大学（昭和62年 卒業）
日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会専門医、指導医



ドック科長 印具 誠

専門分野：一般内科
出身大学：自治医科大学
（昭和57年 卒業）
認定産業医



俵 正幸

専門分野：内科一般
出身大学：長崎大学（平成4年 卒業）



総合診療科長 免出 朗

専門分野：循環器一般
出身大学：山梨大学（平成11年 卒業）
日本内科学会認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医



非常勤医師 瀬山 敏雄

専門分野：呼吸器内科
出身大学：広島大学（昭和50年 卒業）



非常勤医師 藤田 順子

専門分野：消化器一般（特に肝疾患）
出身大学：藤田保健衛生大学
（昭和63年 卒業）
日本外科学会認定登録医
日本消化器病学会専門医

消化器内科

当院の消化器内科では通常の上部内視鏡、下部内視鏡だけでなく、1泊入院での大腸ポリープの治療や消化管出血に対する止血治療など幅広い内視鏡検査治療を行っております。
内視鏡だけでなく幅広い消化器疾患への検査、治療も可能ですので何でもご相談いただけますと幸いです。



吉田 航大

専門分野：消化器内科
出身大学：広島大学（令和2年 卒業）



住井 悠紀

専門分野：消化器内科
出身大学：広島大学（令和2年 卒業）



非常勤医師 田利 晶

専門分野：消化管疾患
出身大学：広島大学（昭和54年 卒業）

循環器内科



循環器内科は、主に動脈や心臓の病気を専門とする内科です。高血圧、糖尿病、高コレステロールなどが原因で進行する動脈硬化に関連し、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞、脳出血、大動脈瘤など、命に関わる疾患の予防・診断・治療を行います。患者さんの症状に応じて冠動脈CT、経胸壁心エコー、経食道心エコー、心臓MRIなども行い、早期発見・早期治療に努めています。



科長 湯谷 剛

専門分野：心臓弁膜症、心筋症
心房細動、心エコー
出身大学：愛媛大学（平成2年 卒業）
所属学会：日本循環器病学会
日本心臓病学会
日本心エコー図学会
日本超音波医学会



非常勤医師 林 康彦

専門分野：虚血性心疾患・心不全など
出身大学：広島大学（昭和47年 卒業）



診療支援部長、リハビリテーション部長
心臓リハビリセンター長 山本 秀也

専門分野：循環器一般、心不全
冠動脈CT
出身大学：広島大学（昭和63年 卒業）
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医・FJCS会員
心臓リハビリテーション指導士
日本動脈硬化学会専門医



赤澤 良太

専門分野：循環器全般
出身大学：広島大学（平成21年 卒業）
日本内科学会認定医
日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）認定医、専門医

外科

外科は令和8年7月から常勤2名の新たな体制で診療を開始しました。
脳神経外科や内科など院内のみならず、地域の病院や診療所の先生方とも連携をはかりながら、患者さんや地域の皆様のお役に立てるように努めて参ります。



科長 中川 仁志

専門分野：一般外科
出身大学：香川医科大学（平成4年 卒業）



高橋 元

専門分野：一般外科、緩和医療
出身大学：広島大学（平成20年 卒業）
日本外科学会外科専門医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医
消化器がん外科治療認定医
日本緩和医療学会 緩和医療認定医、研修指導者
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

整形外科

整形外科では、脊椎や四肢の関節など、身体を動かすために必要な運動器の疾患を幅広く診療しています。

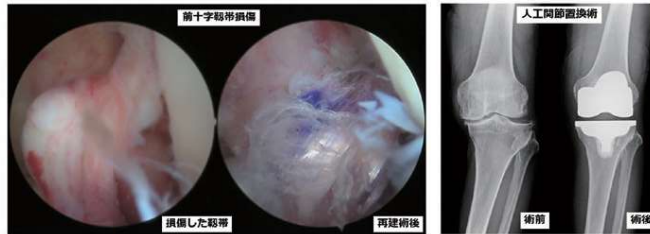
これまでの外来診療に加え、新たに手術体制を整え、膝関節疾患や人工関節を中心とした手術加療を開始しました。投薬、注射、リハビリテーションなどの保存的治療から、関節鏡手術、骨切り術、人工関節手術まで、患者さんの状態や生活背景に応じて治療方法を検討します。

手術に際しては、院内の各診療科や多職種と連携し、安全性に配慮した治療と早期からのリハビリテーションに取り組んでいます。また、法人内の急性期医療、回復期リハビリテーション、地域包括ケア、在宅療養を支える機能を生かし、治療から退院後の生活まで切れ目なく支援できる体制を整えています。

地域の医療機関の先生方とも連携しながら、患者さんが住み慣れた地域に必要な整形外科診療を受け、その後の生活へ円滑に返ることができる体制の充実を目指してまいります。

科長 川西 啓生

専門分野：整形外科
出身大学：藤田医科大学
(平成17年 卒業)



加納 利哉

専門分野：膝・人工関節
出身大学：広島大学 (平成23年 卒業)



非常勤医師 平松 廣夫

専門分野：整形外科
出身大学：広島大学 (昭和47年 卒業)



非常勤医師 井上 博幸

専門分野：整形外科一般、外傷
出身大学：愛知医科大学
(昭和54年 卒業)

麻酔科

麻酔科とは、安全かつ快適に手術が受けられるよう、手術中にわたり患者さんの全身管理を行う専門科です。手術中は意識をなくすだけでなく、呼吸や循環、痛みの管理など、患者さんの全身状態をコントロールする重要な役割を担っています。また、安全に手術が行えるよう、術前診察を行い、個人個人にあった最適な麻酔計画を立て、手術後の痛みのコントロールまで行っています。



黒田 薫

専門分野：麻酔管理
出身大学：広島大学 (平成13年 卒業)
麻酔科標榜医
日本専門医機構認定麻酔科専門医
日本麻酔科学会麻酔科指導医

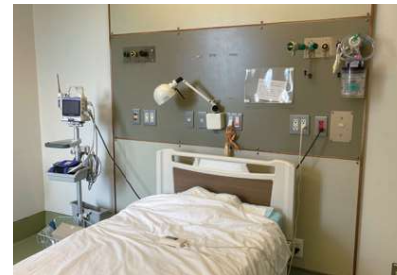
病棟紹介

充実した3つの病棟で幅広い医療をサポート

一般病棟



明るく清潔感のある病室はもちろん、各階には広々とした談話スペースを設け、ご家族やご友人とゆったりとお過ごしいただけます。また、プライバシーにも十分配慮した個室や設備もご用意しており、静かな環境で療養に専念していただけます。



SCU(2026年9月～)

急性期の脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）を対象とした集中治療室で、専門医、看護師、リハビリスタッフなどのチームが24時間体制で治療を行います。脳卒中は、血管閉塞や血管破裂によって脳の機能が障害される疾患で、発症からの早期対応が後遺症の軽減や日常生活への早期復帰に直結します。

地域包括ケア病棟



急性期医療が終了して病状が安定した方や、在宅や介護施設から直接入院が必要となった患者さんの、治療やリハビリテーションを行いながら在宅復帰に向け支援を行う病床です。回復期リハビリ病棟や医療療養病棟の対象とならない方などの受入れも可能です。

入院日数：最長60日です。(レスパイト入院は14日前後とさせていただきます。)

回復期リハビリテーション病棟



脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの急性期治療後、継続して医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対して、多くの専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施します。日常生活動作能力の向上による寝たきり防止と、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的としています。



両院対応



五日市



廿日市

地域医療連携室・医療相談室

看護師と医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が、患者さんやご家族からの相談をお受けしています。医療機関・介護施設・行政・関係機関（地域包括支援センター・介護支援専門員・訪問看護など）と連携をとり、患者さん・ご家族が、医療と介護を円滑に受けられるようお手伝いします。

リハビリテーション

超急性期から積極的な早期リハビリテーションを行います



ウェルウォーク WW-3000（歩行支援ロボット）



AKIRA（3次元動作解析）

脳血管疾患をはじめ整形外科疾患や循環器疾患、内科疾患に対して早期から積極的に介入をしています。発症後、なるべく早期に介入することで廃用症候群を最小限に抑え、円滑な機能・能力の回復を図るよう努めています。特に脳卒中に対する理学療法では、電気治療機器や装具、歩行支援ロボットなどを取り揃えることで、発症早期から患者さんの重症度に応じた離床や立位練習、歩行練習等を充実した環境で行うことを可能にしています。



リハまる（MR技術を活用したリハビリ機器）

心臓リハビリテーション(CPX)

心臓リハビリテーションは、手術やカテーテル治療、薬による治療と同じくらい大切な、心臓病治療の基本となる治療法です。特に近年増えている「心不全」は、退院後に再び悪化して入院が必要になることも少なくありません。当院では、再発や再入院を防ぐことに力を入れて、CPX等を利用して心臓リハビリテーションに取り組んでいます。

「急性期」では心臓病で入院した直後の離床に始まり、状態に応じて活動レベルを少しずつ進めます。当院の病棟には歩行距離を示すピクトグラムを設置し、達成度を確認しながらリハビリを進めています。「回復期」は発症後数週間から半年くらいで行う家庭生活や社会復帰を目指します。「維持期」は生涯にわたる健康維持を目指します。当院でも、主に外来で定期的な指導により運動指導や生活指導を行っています。



当院で行える検査・治療の一例



脳ドック

検査内容に応じて、ファスト脳ドック、スタンダード脳ドック、プレミアム脳ドックの3つのコースがあります。当院は日本脳ドック学会認定施設です。



血管ドック

CTやエコーによる全身血管検査を行います。



大腸CT検査

一般的な「内視鏡検査」と違い、短時間で苦痛の少ない検査です。



胸部CT・内臓脂肪測定

最新鋭の320列マルチスライスCT装置による充実した検査体制を、皆さまの健康管理にお役立てください。



心エコー

超音波を用いて、心臓の動き・大きさ・心臓の筋肉や弁の状態・血液の流れなどを観察する検査です。



内視鏡検査

内臓や体腔内部に機器を直接入れて観察する検査です。胃、大腸など、調べる部位によって様々なタイプの機器があります。



心肺運動負荷検査

呼気ガス分析を併用しながらエルゴメーター（自転車）で運動負荷をかけ、心臓・肺・骨格筋を含めた総合的な運動耐容能を評価する検査です。



脳ドック



内視鏡検査



24時間 時間外救急診療

脳神経外科系・内科系・外科系の時間外救急診療を行っております。



時間外受診で対応できる主な症状

脳神経外科的疾患	頭痛、頭部打撲、頭部外傷、めまい、意識消失、手足のしびれ、脱力感、失神、けいれん等
内科的疾患	発熱、脱水等のかぜ症状等
外科的疾患	切り傷（中度～軽度）等



在宅診療・介護サービス

○在宅診療支援センター(五日市)

通院が困難な患者さんの自宅に医師が定期的に訪問して診療を行います。

退院後の生活支援の中で、切れ目なく医療と介護サービスを提供するため、訪問看護ステーションなどと連携しています。

在宅診療支援センター長 神経内科 みやざき 裕子

○清風ケアステーション(五日市)

居宅介護支援事業所

病院併設の事業所であることから、医療と介護の連携もスムーズで、入院時の支援や在宅療養支援も迅速に行えるのが大きな特長です。地域の皆さまの暮らしを支える身近な相談窓口として、介護保険サービスの利用をサポートします。



訪問看護ステーション

病気や障害を抱えながらご自宅で療養の方に、看護師やリハビリスタッフが訪問して療養生活のお世話や診療の補助を行うサービスです。日常生活の活性化や行動範囲が広がるよう支援を行い、実生活に即した生活動作能力の維持や回復を図ります。



認定栄養ケア・ステーション

“認定栄養ケア・ステーション”とは、地域の皆さまが栄養ケアの支援・指導を受けることが出来る地域密着型の拠点として日本栄養士会から認定されている施設のことです。



(広島県内11事業所のみ、9月1日現在)

食・栄養の専門家である管理栄養士が健康で充実した生活を送れるようサポートいたします。



訪問リハビリテーション(廿日市)

実際に利用者さんのご自宅やその周辺で生活に関するリハビリサービスです。例えばお風呂に入るのが難しくなったり、転倒が不安で外に出られないなど、それぞれの利用者さんに沿った困り事を解消できるようリハビリを行います。お体の状態を評価し、生活動作の練習や自主練習の提案をさせていただきます。また手摺りや杖、車椅子など福祉用具の適切な選定・提案もしていきます。また必要に応じて介助される方々への介助方法の伝達や、アドバイスを行い支援いたします。



院内プログラム・地域活動

栄養の日

(公社)日本栄養士会は2016年に、全ての人が健康の保持・増進の実現に向けて、「栄養の日(8月4日)」、「栄養週間(8月1日～8月7日)」を制定しています。

当院の認定栄養ケア・ステーションにおいても、毎年、バランスのとれた食生活の実践を促す機会を提供することを目的にイベントを開催しています。



【両院】



院内コンサート

血液内科・緩和ケア病棟にて、外部より演奏者の方をお招きして、院内コンサートを開催しています。美しい音色や歌声により、入院生活での心の安らぎを提供することを目的としています。



地域づくり活動

他の企業や自治会との連携を重んじ、住民の健康増進を目的とした各種測定会・講座をおこなっています。医師・理学療法士・看護師・薬剤師・介護福祉士などの専門職による、体組成・骨密度測定や転倒予防講座、お薬についてのお話は要望も多く、直接地域の方々にふれあい、健康に関する啓蒙活動をおこなうことは、病院として重要な役割だと考えています。



病院祭

医療機関・一般企業・教育機関の連携による地域交流イベントを開催しています。

各種医療・介護に関する体験ブースに加え、キッチンカーによる食事提供、神楽や演奏会の舞台など楽しみながら健康増進を体験すると共に、地域の賑わい作りに繋がればと考えています。



五日市
SNS



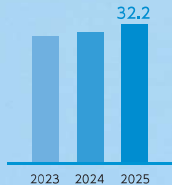
廿日市
SNS

廿日市記念病院

リハビリテーションと緩和ケアの専門病院です

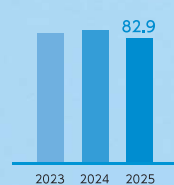
1日平均外来患者数

32.2人/日



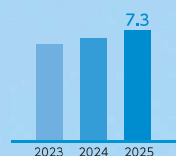
在宅復帰率

82.9%



回復期リハビリ病棟
平均リハ単位数

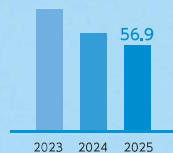
7.3単位



※リハ単位数は、患者一人あたりの提供数です

平均在院日数

56.9日



※2025年7月～2026年6月

【廿日市記念病院】

開設年月日 2000年6月1日

院長 茶木 隆寛

診療科目 脳神経外科、内科、循環器内科

呼吸器内科、整形外科、外科

リハビリテーション科、緩和ケア内科

許可病床数 一般病床 38床（緩和ケア病棟 38床）

療養病床 88床

（うち回復期リハビリテーション病棟 60床）

建物面積 7720 m²

〒738-0060 広島県廿日市市陽光台5-12

（代表）TEL.0829-20-2300 FAX.0829-20-2301

✉hmh@seifu.or.jp

診療部



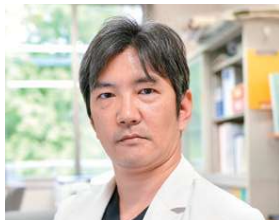
脳卒中や認知症、生活習慣病、がん、運動器疾患・終末期医療など、幅広い病状に対応し、各専門医が連携して一人ひとりに寄り添った診療を行っています。通院から入院、リハビリ、在宅支援まで、地域で安心して暮らしていただけるよう、総合的な医療体制を整えています。

脳神経外科



院長 茶木 隆寛

専門分野：脳血管障害
リハビリテーション
出身大学：愛媛大学（昭和58年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本脳ドック学会認定医



診療部長 高柿 尚始

専門分野：脳血管障害
リハビリテーション
出身大学：広島大学（平成14年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医



相談役 浅野 拓

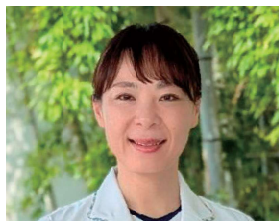
専門分野：脳神経外科
出身大学：岡山大学（昭和48年 卒業）
日本脳神経外科学会専門医
医学博士

緩和ケア内科



非常勤医師 梶原 四郎

専門分野：脳血管障害
出身大学：広島大学（昭和47年 卒業）



谷口 真理

専門分野：緩和医療、総合内科
出身大学：自治医科大学
（平成20年 卒業）
日本緩和医療学会緩和医療専門医
日本内科学会総合内科専門医、認定
内科医



藤城 泰彦

専門分野：呼吸器内科、緩和医療
出身大学：鳥取大学（平成23年 卒業）
日本呼吸器学会呼吸器専門医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
日本内科学会認定内科医
日本在宅医療連合学会指導医

リハビリテーション科



井上 実緒

専門分野：リハビリテーション
出身大学：京都府立医科大学
（平成18年 卒業）
リハビリテーション科専門医

外科



吉屋 智晴

専門分野：呼吸器外科
出身大学：広島大学（平成14年 卒業）
医学博士
日本外科学会認定医
日本呼吸器外科学会認定医

循環器内科



非常勤医師 免出 朗

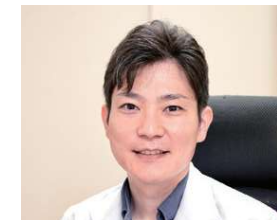
専門分野：循環器一般
出身大学：山梨大学（平成11年 卒業）
日本内科学会認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医

呼吸器内科



非常勤医師 山口 覚博

専門分野：呼吸器内科
出身大学：広島大学（平成21年 卒業）



非常勤医師 下地 清史

専門分野：呼吸器内科
出身大学：広島大学（平成24年 卒業）
日本内科学会総合内科専門医
日本呼吸器学会呼吸器専門医



非常勤医師 井上 博幸

専門分野：整形外科一般、外傷
出身大学：愛知医科大学（昭和54年 卒業）
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本整形外科学会認定運動器リハビリ
テーション医



1階 待合室



緩和ケア病棟 中庭

総合リハビリテーションセンター



一人ひとりに寄り添うリハビリを



理学療法では徒手療法・電気療法・装具療法の3本柱を軸にして患者さんの潜在能力を見極めて引き出し、適切な退院支援を行うことを目標に掲げて取り組んでいます。また、作業療法では日常生活に関すること、家事動作など、生活動作訓練の応用動作練習やドライビングシミュレーターの活用、リハビリ農園の管理による、復職や楽しみ活動に関するアプローチを行います。失語症や構音障害、高次脳機能障害の方々には、言語聴覚両方において、個別リハビリだけでなく、他職種との嚆下チームと共同した評価や訓練を実施しています。

回復期リハビリテーション病棟



多くの専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施



ドライビングシミュレーター

回復期リハビリテーション病棟とは

回復期リハビリテーション病棟では、障害された状態の機能回復を目指すことを中心に多くの職種が関わりチームで集中的なリハビリを行っています。チームとは、多職種が連携をとり、患者さん、家族へ密に関わり合いを持つ医療です。お互いの専門性を活かし病気の治療や病気による障害のリハビリだけでなく、生活支援、社会支援などを進めることができます。患者さん・ご家族に寄り添い、多職種が丁寧でわかりやすい医療を提供します。

通所リハビリテーション



身体やくらしの「困った」まるごとソリューション

廿日市記念病院の通所リハビリテーションには看護師、介護スタッフ、リハビリ職（PT・OT・ST）が在籍しており、それぞれの専門性を活かしたチーム支援を行っています。利用者様一人ひとりの『その人らしさ』とは何かをともに考え、身体機能や生活状況のアセスメントを行い、ご自宅での生活に活かせるリハビリや活動をプランニングします。在宅生活における「困った」を解決できるよう、利用者様を中心に、多職種のチームだからこそできるサービスを提供します。また、医療、介護、地域を結ぶ「架け橋」の役割を担う事業所として、当院回復期リハビリ病棟や訪問リハビリ、他事業所との連携を積極的に行います。



緩和ケア(ホスピス)病棟



当院は、特定非営利活動法人 日本緩和医療学会の連携施設です



多職種が連携したサポート体制

患者さんのさまざまな苦痛を緩和し、「生きる」を支え、その人らしく過ごすことを支援しています。医師、看護師、薬剤師、セラピスト（PT・OT・ST）、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、介護スタッフ、ボランティアが、身体の苦痛や精神的不安、生活の困りごとなど幅広くサポートしています。患者さんやご家族が大切にされていることを私たちスタッフも大切に、想いに寄り添い真心のこもったケアを提供しています。



快適な居住空間

患者さんやご家族が穏やかに過ごせるよう、快適な居住空間づくりを行っています。自宅のようにリラックスしていただけるよう、あたたかみのある内装や、家具を整えています。29部屋の個室と3部屋の大部屋があり、患者さんやご家族のご希望に応じたお部屋の案内を行っています。自然光が差し込む共有スペースがあり、居住以外でもご家族との時間を過ごしていただくことができます。四季の移ろいを感じられる中庭もあり、心安らぐひとときを過ごしていただけます。

当院で行える検査



脳ドック

検査内容に応じて、ファスト脳ドック、スタンダード脳ドックの2つのコースがあります。また当院は廿日市市の検診機関となっており、廿日市市国民健康保険脳ドックの助成を受けられます。

清風会の取り組み

(法人第9期 2025.7～2026.7)



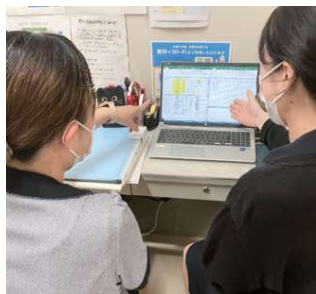
中期経営計画・タウンホールミーティング、 創立35周年記念懇親会の開催

第10期（7月～）のスタートにあたり、法人の中期計画を管理職と共有するとともに、それぞれの立場から法人の発展について考え、よりよい組織作りに繋げる事を目的に、7月4日（土）、タウンホールミーティングを実施しました。参加者からは活発に意見が出るなど、法人が目指す方向性の理解を深めました。その後、創立35周年の節目を祝する懇親会を開催しました。ミュージシャンによる音楽演奏会も行われ、参加者が英気を養いました。



人材育成・管理職研修

清風会の前身とも言える大崎下島久比にある旧梶原医院（現まめな）で、昨年から始めた新卒入職者30名を対象に新人研修を今年も開催しました。源流の地を訪れることで清風会の理念を深く理解すると共に、高齢化が進む過疎地の現状を住民の方との対話等を通じて理解し、長く健やかに生きるために医療・介護ができることをチームに分かれて考え発表を行いました。また専門職としてのスキルを磨くだけでなく、メンバーの成長を促すための制度（人事考課）の運用者であり、現場を導くリーダーである管理職の育成に力を入れており、昨年より管理者研修を強化しています。人材育成スキル、経営スキル、勤怠管理など、年間プログラムに基づき四半期に1回実施しています。



IT・DX戦略

DXは単なるデジタル化ではなく、「医療の質」と「働きやすい職場」を両立させるエンジンだと考えます。専門職が本来の業務に集中できるスマートな職場作りを目指します。4月から本格導入したRPAや生成AIの活用は各部署で広がっています。書類作成においては入力作業の削減により、より確認やミーティングに時間が使え、業務負担の軽減と効率化、それによる質の向上について成果が見え始めています。



特定技能外国人

看護師の業務効率化と共に、看護部からのタスクシフトをするため、看護助手による支援体制強化に力を入れています。特定技能制度を活用した外国人看護助手（ミャンマー15名・インドネシア3名）を受け入れ、医療提供体制の強化を図っています。

沿革

HISTORY

清風会は今年創立35周年を迎えました。これは皆様の支援の賜物です。
今後も地域に求められる医療を提供するために精進していきます。

1991年（H3） 7月 五日市記念病院 開設（95床 個人病院）



1997年（H9） 11月 五日市記念病院 増築（手術室、ICU 6床 ほか）

1998年（H10） 10月 医療法人化

1999年（H11） 2月 職員宿舎『清風メゾン・ブルミエ』建設
16戸（34.5㎡/戸）



2000年（H12） 6月 廿日市記念病院 開設（109床）



2003年（H15） 6月 廿日市記念病院 増築・増床

2007年（H19） 2月 五日市記念病院 増築・増床
7月 五日市記念病院 電子カルテ化

2015年（H27） 1月 法人プライベートクラウド化（廿日市記念病院 電子カルテ化）

2017年（H29） 10月 社会医療法人化

2020年（R2） 1月 技能実習生受入開始

2022年（R4） 11月 五日市記念病院 訪問看護ステーション 開始

2024年（R6） 5月 五日市記念病院 清風ケアステーション（認定栄養ケアステーション、訪問看護ステーション）、および訪問診療開設
6月 五日市記念病院 急性期一般入院料を算定する病棟の入院医療費の計算方法を「包括評価方式（DPC制度）」へ変更

2025年（R7） 1月 コーポレートマーク変更
6月 五日市記念病院 清風ケアステーション内に居宅介護支援事業所開設